

草津市立少年センター・あすくる草津

少年センターだより



『外遊びは大切な学びの場』

草津市小中学校長会 中学校長代表

松原中学校長 柴原 力

田舎で育った幼少の頃、近所のなかまと一緒に、毎日、日が暮れるまで遊ぶことに明け暮れていたことを、50年程前になりますが、まるで昨日のように鮮明に覚えています。冬には、雪が降ると自宅の庭や小学校の校庭で雪だるまやかまくらを作ったり、夏には町内の子ども会で田上山を流れる天神川に大人の人たちと一緒にキャンプに出かけ、魚取りや水遊びをしたり、ある時には山で探検ごっこをしたりしました。また、自宅の前にあった公民館が地域のコミュニティの拠点となり、その屋外ではビー玉で遊んだり、屋内では卓球をしたり、幅広い年齢のなかまと一緒に過ごした幼少期の記憶が思い出されます。急速に発展した情報化社会と昨今の新型コロナウイルスの影響等も相まって、他者とのコミュニケーションコミュニティが不足している現代とは違って、私の幼少期は地域社会にあってほしい機能が働いていたように思います。



さて、昨今、日本の子どもたちの外遊びの時間が私たちの年代と比べ、大きく減少しているということをよく耳にします。松原中学校では、3年前から「松原G-G R I T学習」の名のもと、これからの予測困難な時代に、他者と協働して生きぬく力を育む学習に取り組んでいます。

生徒たちは身のまわりや世界に目を向け、課題発見から解決に向けて主体的に取り組み、他者と協働できる力を確実に身につけ、特に「コミュニケーションを行う力」や「他者と協力する力」を身につけ、生徒自身で自発的・主体的に成長・発達させることができてきています。



また、本校の今年度のいじめの認知件数は、昨年度の同時期に比べ32%減になっています。生徒指導は「困難課題対応的生徒指導」と「課題予防的生徒指導」と「発達支持的生徒指導」の3つに分類されます。



3つめの「発達支持的生徒指導」とは、児童生徒の「個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支える」ように働きかけます。発達支持的生徒指導のめざす資質・能力には①「課題解決力」②「コミュニケーション力」③「他者と協力する態度」④「つながりを尊重する態度」があり、松原G-G R I T学習で育む能力・態度と大変関連しています。いじめにつな

がる原因としてコミュニケーション不足によるもの、自分の思いを他者に上手く伝えられないことで誤解が生じたことによるもの等が考えられることから、本校の取組と発達支持的生徒指導に密接な関係があり、この取組により、生徒指導事案、特にいじめ事案の認知件数の減少に繋がっていると推測できます。

青少年の健全育成において、これからの時代を生きるために、幸せな人生を切り拓くために、他者と協働する力・目標を達成する力・情動を制御する力、いわゆる「非認知能力」の育成が重要であることを改めて感じています。

べき思考から解消：セルフラブ（あるがままの自分を受け入れる）



以前テレビ番組でも取り上げられましたが、精神科医である藤野智哉先生が教える「心を軽くする16の方法」というものがあります。その中には「背筋を伸ばす」「よく噛む」「『疲れた』と口に出す」など、すぐにできる簡単な方法もたくさんあり、たいへん興味をそそられます。

その16の方法の一つに”**目標を持たないことを目標にする**”というのが紹介されています。物事に取り組もうとするときに目標を立て、その目標に向かって具体的に**すべきこと**を小目標として考え実践していくこと（**べき思考**）があります。野球のメジャーリーグで活躍する大谷翔平選手は高校時代から詳細な目標達成シート（マンダラチャート）をつくり、その実現に向けて努力していたことは、マスコミ等の情報で有名になりました。このように目標があった方が取り組みやすいということもありますが、逆に目標の達成にこだわり過ぎると、そのことに縛られて負担やストレスを感じることがあります。これでは何のための目標なのかと思います。

”**目標を持たないことが目標**”だと実現しなくても気にすることはありません。

目標を気にせず、リラックスした状態で他の物事に取り組むことで予期していなかった成果が出ることもあります。ずぼらな私（**あるがままの自分**）には向いているのではと自分を納得（**セルフラブ**）させています。



<「心を軽くする16の方法」に救われた方からの投稿>

今、あすくるでは...

ゲーム?
勉強?
熟語神経衰弱

がんばれ! 受験生!

合格

ラストパート!!

年が明けると、3月まではあっという間。あすくるに通う少年たちにも、受験のシーズンがやってきました。受験は誰にとってもしんどいものではありませんが、「この学校に行きたい」と最後まで頑張る少年たちに、私たちもエールを送っています！結果も大切なことですが、あの時、あれだけ頑張ることができたという経験が少年たちの自信につながってほしいと思っています。

実技入試
の練習も!

必勝

ひとりで悩まず! まずは相談を!!

非行等さまざまな課題を抱えた、少年本人・保護者・関係者などからの相談に応じています。



月曜日から金曜日（祝日、年末年始は休業）9：30～16：00
○電話相談 ○面接相談 （相談は無料です。）

相談専用電話（077）562-0594

カウンセラー（臨床心理士）による相談も実施しています。
※要予約

～少年に 愛のひと声 わたしから～

草津市立少年センター・あすくる草津

525-0032

草津市大路二丁目1-35

市民総合交流センター（キラリ草津）3階

TEL(077)562-6561

FAX(077)567-0557

